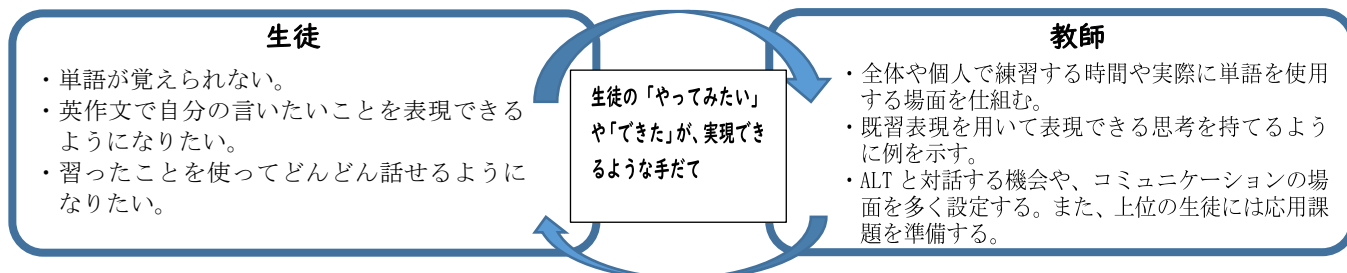


1. 生徒と教師の内省の往還 (実施アンケートより)



2. 単元内自由進度学習の学習目標

- 主体的に学びの自己調整を行い、ときには既習事項を活用しながら協働的に学習を進める中で、学びの共有や連携によって、お互いに学びを高め合おうとする。

3. 単元内自由進度学習の進め方

本時4回目/全6回

生徒の思考、表現等	学習活動	教師の手立て、支援
<b>① 本時の予定を確認する。</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>前回の授業ではメモまで完成したから、今日は下書きの完成を目指そう。</li> <li>前回の授業で下書きが完成したから、ALTの先生に一度発表して更に内容を良いものにしていこう。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれのペースで学習を進める時間と全体で共有をする時間など、本時の見通しが持てるように確認をする。</li> </ul>
<b>② 学習を開始する。</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>言いたいことはあるけれど、どう表現すればいいのかわからない。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>既習表現や語彙を使ってどのように表現できるかの発想のヒントを与える。</li> <li>原稿が完成した生徒にはどんどん発表するように促す。</li> </ul>
<b>③ 必要な人に対して、指導の時間を設ける。</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の表現の単語を変えれば、伝えたい情報を更に詳しく述べることができそうだ。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>共有したことをロイロノートなどで生徒がいつでも振り返ることができるように情報を掲載する。</li> </ul>
<b>④ (③の指導を受けた人は) 個別の学習を再開する。</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>友達の表現を参考にして自分の英作文に取り入れてみよう。</li> <li>自分もALTの先生に発表して不足している情報などを加えよう。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>全体共有から生徒たちが何を得たのかを見取り、必要に応じてアドバイスをする。</li> </ul>
<b>⑤ 本時の学習のふり返りを記入し、交流する。</b>		
<b>次回の学習予定を確認する。 ※終了5分前に実施</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>ALTの先生に発表したことで先生が知りたい情報や自分の発表の足りない部分を確認することができた。</li> <li>今日の授業ではメインの内容まで進んだから次回は、完成を目指して発表の練習に移れるようにしよう。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>自身の学びをふり返り、次回の学習への見通しを持てるような活動となることを意識させる。</li> <li>グループで振り返りを交流し、全体でも学びを共有する。</li> </ul>

4 単元内自由進度学習における教師の主な手立て、支援 ※学習内容の詳細は学びの地図参照

<ul style="list-style-type: none"> <li>オリエンテーション</li> <li>ガイダンス</li> <li>学習計画立案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自律した学習者を目指すために、学びの自己調整について生徒と共有する。</li> <li>ALTの先生の立場に立って相手意識を持ち、どんな情報を求めているかを考えて内容を整理することを狙う。</li> <li>ALTの先生の立場に立った上で、伝える内容を決定させる。</li> </ul>
ALTの話の内容理解 教科書の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の新出単語、例の内容理解を行い、本文の文構成や自分の活かせそうな表現をピックアップさせる。</li> </ul>
情報の整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>書く内容とその構成を考えさせる。</li> </ul>
発表原稿作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分がわからない単語を使いすぎることのないように、既習表現に言い換えるとどうなるかを考える思考を持たせる。</li> </ul>
協働的学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の途中で全体の参考になるような表現や取り組みを共有し、自分の学習に活かせるようにする。</li> </ul>
中間発表・推敲	<ul style="list-style-type: none"> <li>一度完成したら、ALTの先生や仲間発表し、やりとりを通して、さらに必要な情報を加えるなど推敲を行う。</li> </ul>
発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の目指す発表のレベルに至るまで練習を繰り返し行わせた上で発表に臨ませる。</li> </ul>
単元内自由進度学習の学習後	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元内自由進度学習中に生徒の習得が不十分と感じた内容について、全体で補充を行う。</li> </ul>

5. 評価

- 振り返りを通して、学習に見通しを持ち、主体的に学習を調整している。(学びの地図、態)
- 聞き手を意識し、構成や内容を工夫して作成している。(原稿、思・判・表)
- 適切な声の大きさや、英語らしい発音・イントネーションで発表している。(パフォーマンステスト、知・技)